

ポスター発表 (大学会館3F大集会室)

奇数番号コアタイム: 3月21日 11:00~12:00

偶数番号コアタイム: 3月22日 8:30~9:30

1. 草地生態・システム分析・緑地環境

P01	春播き寒地型牧草の被度に及ぼす草品種と刈取り回数の影響 ○東山雅一、魚住順、内野宙、出口新、嶺野英子 (農研機構 東北農研)
P02	秋播き寒地型牧草の被度に及ぼす草品種の影響 ○東山雅一、魚住順、内野宙、出口新、嶺野英子 (農研機構 東北業農研)
P03	中国内蒙古自治区新バルグ右旗の退化草原における窒素およびリン酸添加による草原修復処理の影響評価 ○川田清和 ¹ ・元金東 ¹ ・上條隆志 ¹ ・烏云娜 ² (¹ 筑波大学・ ² 大連民族大学)
P04	寒地型牧草の肥料木・庇陰樹としてのネムノキの特性評価. 稚樹植栽4年後のオーチャドグラス無施肥草地の生産力 ○福田栄紀 (農研機構 東北農研)
P05	ドローン空撮画像を用いた放牧地の植被と植生指数の季節変化 ○川村健介 ¹ ・小倉振一郎 ² ・八代田真人 ³ ・Lim Jihyun ⁴ ・安田泰輔 ⁵ ・黒川勇三 ⁶ ・小櫃剛人 ⁶ (¹ 国際農林水産業研究センター・ ² 東北大学大学院農学研究科・ ³ 岐阜大学応用生物科学部・ ⁴ 広島大学キャリアデザインセンター・ ⁵ 山梨県富士山科学研究所・ ⁶ 広島大学大学院生物圏科学研究科)
P06	府県型放牧酪農の推進に向けた物質動態モデル - 基本構造の構築 - 明珍 学・○板野志郎・吉成悠佑・田中繁史・吉田智佳子 (新潟大農学部)
P07	3軸加速度センサーを利用した放牧期間中の羊の行動計測と採食強度の解析 吉成悠佑 ¹ ・○板野志郎 ¹ ・明珍 学 ¹ ・渡辺也恭 ² ・川村健介 ³ (¹ 新潟大学・ ² 北海道農業研究センター・ ³ 国際農林水産業研究センター)
P08	営巣地におけるチベットギツネの柔軟な日周活動性 ○塚田英晴 ¹ ・郭 志宏 ² ・李 偉 ² ・朵 红 ² ・付 永 ² ・彭 毛 ² ・沈 秀英 ² ・尼 瑪 ³ ・野中成晃 ⁴ (¹ 麻布大学・ ² 青海大学・ ³ 海宴県獣医局・ ⁴ 宮崎大学)
P09	絶滅危惧種オキナグサの発芽に要する積算温度 ○坂上清一 ¹ ・下田勝久 ² (¹ 農研機構北農研・ ² 農研機構畜産研究部門)

2. 造成・管理・栽培

P10	中国地方におけるディジットグラスの収量性に及ぼす刈取の高さおよび間隔の影響 ○大谷一郎・堤 道生・寺井恵子 (農研機構 西日本農研)
P11	UAV空撮画像と機械学習を用いた採草地内の雑草の検出: 撮影時期および撮影高度の影響の予備調査 ○中神弘詞 ¹ ・赤坂邦弥 ² ・前田育男 ² ・長谷部浩行 ² ・渡邊 修 ³ (¹ 農研機構畜産研究部門・ ² 家畜改良センター・ ³ 信州大学農学部)
P12	RCP4.5シナリオのもとでの飼料用トウモロコシ (Zea mays L.) 二期作適地の変化予測 ○菅野 勉 ¹ ・森田聡一郎 ¹ ・佐々木寛幸 ¹ ・加藤直樹 ² ・西村和志 ³ ・西森基貴 ⁴ (¹ 農研機構畜産研究部門・ ² 農研機構九州沖縄農研・ ³ 農研機構中央農研・ ⁴ 農研機構農環研)
P13	夏季の北海道におけるミツバチ農薬被害回避に向けた蜜源作物の選定 ○小路 敦・坂上清一 (農研機構 北農研)

ポスター発表者は指定されたコアタイムにポスターの前で待機し、説明してください。
ポスターは3月22日の12:30から13:00の間に撤去してください。13:00以降に掲示されているポスターは大会事務局で処分します。

ポスター発表 (大学会館 3F 大集会室)

奇数番号コアタイム : 3月21日 11:00~12:00

偶数番号コアタイム : 3月22日 8:30~9:30

2. 造成・管理・栽培

P14	岩手県での子実用トウモロコシの収量性 ○出口 新・内野 宙・魚住 順・嶮野英子・河本英憲 (農研機構 東北農研)
P15	ハルガヤ(<i>Anthoxanthum odoratum</i>)の生態的および栄養的特性 ○渡部 敢・飯田憲司 (道総研畜産試験場)
P16	土壌水分条件が異なる圃場での飼料作物の収量の比較 ○北川まき ¹ ・大川夏貴 ¹ ・鶴田 勉 ¹ ・服部育男 ² ・加藤直樹 ² (¹ 熊本県農業研究センター畜産研究所・ ² 農研機構九農研)
P17	根釧地域における飼料用ライ麦秋播き栽培の生育特性 ○角谷芳樹 ¹ ・林 拓 ² ・牧野 司 ¹ ・中村直樹 ¹ ・松本武彦 ¹ (¹ 道総研根釧農業試験場・ ² 道総研上川農試天北支場)
P18	関東北部におけるトウモロコシ子実生産のための条件検討 ○森田聡一郎・菅野 勉 (農研機構 畜産研究部門)
P19	播種方式がファジービーン ¹ の生育および収量に及ぼす影響 ○飛佐 学・井戸田幸子・石井康之 (宮崎大農学部)
P20	栽植密度がファジービーン ¹ の種子生産に及ぼす影響 ○飛佐 学 ¹ ・黒木皓斗 ¹ ・井戸田幸子 ¹ ・石井康之 ¹ ・西村慶子 ² ・温谷茂樹 ² (¹ 宮崎大学農学部・ ² 宮崎県畜産試験場)
P21	北海道東部の放牧地におけるペレニアルライグラスの冠部被度の推移 ○佐々木 亨 ¹ ・平田 愛 ¹ ・菊池慎二 ¹ ・杉田紳一 ² (¹ 日草種協 北海道支所・ ² 日草種協 飼作研)
P22	北海道の道央地域におけるトウモロコシ子実の収量性と水分含量 ○佐藤 尚・黄川田智洋 (農研機構 北農研)
P23	マサ土におけるバヒアグラスの生育を堆肥施用が改善する (予報) ○堤 道生・大谷一郎 (農研機構 西日本農研)
P24	Alfalfa (<i>Medicago sativa</i> L.) production and establishment in Minqin Oasis ○Hideki Okamoto ¹ ・Cuihua Huang ² ・Xian Xue ² ・Jin-Lin Zhang ³ ・Luo Jun ² ・Xin-Pei Lü ³ ・Jun-ichi Kashiwagi ⁴ ・and Ping An ⁵ (¹ Kamikawa Agricultural Experiment Station, HRO・ ² Northwest Institute of Eco-Environment and Resource, CAS・ ³ College of Pastoral Agriculture Science and Technology, Lanzhou University・ ⁴ Hokkaido University・ ⁵ ALRC, Tottori University)
P25	本邦亜熱帯地域におけるソルゴー型ソルガムの生育と再生 ○今井裕理子 ¹ ・赤嶺 光 ² ・Win Mi Htwe ² ・川本康博 ² (¹ ヤンマー (株)・ ² 琉球大農学部)
P26	Effects of EDTA on dry matter and lead uptake in <i>Brachiaria decumbens</i> and <i>Paspalum atratum</i> from lead contaminated acidic soil ○Win Mi Htwe ¹ ・Yasuhiro Kawamoto ² (¹ The United Graduate School of Agricultural Sciences, Kagoshima University・ ² Faculty of Agriculture, University of the Ryukyus)

ポスター発表者は指定されたコアタイムにポスターの前で待機し、説明してください。
ポスターは3月22日の12:30から13:00の間に撤去してください。13:00以降に掲示されているポスターは大会事務局で処分します。

ポスター発表 (大学会館 3 F 大集会室)

奇数番号コアタイム： 3月21日 11:00~12:00
偶数番号コアタイム： 3月22日 8:30~9:30

2. 造成・管理・栽培

P27	オーチャードグラスとペレニアルライグラスの放射性セシウム濃度の草種間差 ○ 柁村恭子・大槻和夫・早坂貴代史・渋谷 岳・山田大吾 (農研機構 畜産研究部門)
P28	未除染畦畔・法面で野草の飼料を刈払機と熊手で集草すると土壌混入により放射性セシウム濃度が高まる ○ 好野奈美子 ¹ ・浅井元朗 ¹ ・柁村恭子 ² ・須永義人 ² ・木幡和宏 ³ (¹ 農研機構東北農研・ ² 農研機構畜産研究部門・ ³ 福島県農業総合センター畜産研究所)
P29	福島県の営農再開酪農場における飼料作物生産技術実証－牧草中の放射性セシウム濃度とカリウム濃度の推移－ ○ 天羽弘一・住田憲俊・小島陽一郎 (農研機構 畜産研究部門)
P30	福島復興牧場への飼料用トウモロコシ生産技術移転と規模拡大 ○ 住田憲俊・天羽弘一 (農研機構 畜産研究部門)

3. 放牧・家畜管理・行動

P31	被食量推定式の基礎をなす仮定の比較解析 ○ 坂上清一 (農研機構 北農研)
P32	摂取植物種の多様性がウシのルーメン消化に及ぼす影響 ○ 高見澤真太 ¹ ・中野美和 ² ・宍戸哲郎 ¹ ・小倉振一郎 ^{1*} (¹ 東北大学大学院農学研究科・ ² 農研機構畜産研究部門)
P33	行動・生産・環境指標を用いた採卵鶏輪換放牧の動物福祉効果の解明 ○ 小玉祐二・板野志郎*・杉山稔恵・吉成悠佑・明珍 学・町田麻菜美・遠山 錬・遠藤理弘・西川洸史 (新潟大農学部)
P34	教師なし学習を利用した牛の採食行動の識別 ○ 渡辺也恭・坂上清一 (農研機構 北農研)
P35	耕作放棄地におけるヤギの除草面積の推定 ○ 柿 真理 ¹ ・加藤元海 ² (¹ 高知大・院・理・ ² 高知大・黒潮圏)
P36	シバ糞上移植における牛糞の違いがシバの生育に及ぼす影響 ○ 中西良孝 ¹ ・後藤孝美 ² ・松元里志 ¹ ・片平清美 ¹ ・大島一郎 ¹ ・高山耕二 ¹ (¹ 鹿児島大農学部・ ² 熊本県立矢部高等学校)
P37	ソルゴー型ソルガムを利用した冬季放牧の検討 3. 夏季と冬季の2回利用の検討 ○ 手島茂樹・進藤和政 (農研機構 畜産研究部門)
P38	手摘み法による放牧牛のバイトサイズ推定：山地放牧地における植物種、高さ、季節によるバイトサイズの比較 畠山紀智・○小倉振一郎*・二階莉紗・宍戸哲郎 (東北大学大学院農学研究科)
P39	モザンビーク国ガザ州の農家における家畜・家禽生産と飼養管理 ○ 山崎正史 ¹ ・Damiao W. Ngulve ² ・Benedito I. Tinga ² ・安藤 貞 ¹ (¹ 国際農研・ ² モザンビーク国立農業研)
P40	野生鳥獣のジビエ活用： イノシシ及びニホンジカの機能性アミノ酸 ○ 時田昇臣・大橋りか・長谷川愛 (日本獣医生命科学大)

ポスター発表者は指定されたコアタイムにポスターの前で待機し、説明してください。
ポスターは3月22日の12:30から13:00の間に撤去してください。13:00以降に掲示されているポスターは大会事務局で処分します。

ポスター発表 (大学会館 3 F 大集会室)

奇数番号コアタイム : 3月21日 11:00~12:00
偶数番号コアタイム : 3月22日 8:30~9:30

4. 飼料調製加工・貯蔵・利用

P41	イネWCS等の生産履歴管理システムの構築 3) コントラクター向け機能拡張 ○喜田環樹 ¹ ・川出哲生 ¹ ・西村和志 ² (¹ 農研機構畜産研究部門・ ² 農研機構中央農研)
P42	稲WCS多給条件の黒毛和種繁殖牛における飼料費の低減 (予報) ○河本英憲・米内美晴 (農研機構 東北農研)
P43	コーンコブミックスおよびハイモイスチャーシェルドコーンの給与が泌乳牛における飼養成績、消化性および窒素出納に及ぼす影響 ○多田慎吾・青木康浩・上田靖子・田鎖直澄・伊藤文彰・山崎武志 (農研機構 北農研)
P44	モウソウチクと酒粕との混合サイレージ調製と発酵適性 菊川裕幸 ¹ ・○蔡 義民 ² (¹ 兵庫県立篠山東雲高等学校・ ² 農研機構畜産研究部門)
P45	茎ワカメと稲わらを利用したサイレージの品質評価 ○大竹秀男 ¹ ・高橋由衣 ¹ ・田川伸一 ² ・金藤克也 ³ (¹ 宮城大学食産業学部・ ² 清水港飼料 (株)・ ³ さとうみファーム)
P46	Effect of Chemical Conditioning on the Drying Rate and Quality of Rye (<i>Secale cereale</i> L.) Hay Y. W. Li ¹ , S. I. Jeong ² , H. J. Kim ² , S. G. Choi ² and J. G. Kim ^{1,2} , (¹ Graduate School of International Agricultural Technology, Seoul National University・ ² Research Institute of Eco-friendly Livestock science, INSTITUTE of GreenBio Science Technology, Seoul National University)
P47	Study on the Productivity and Quality Component in Whole Crop Rice Varieties in Korea ○ J. G. Kim ^{1, 2*} , Y. W. Li ¹ , S. I. Jeong ¹ , H. J. Kim ¹ , S. K. Choi ¹ , E. G. Ahn ³ (¹ Graduate School of International Agricultural Technology, Seoul National University・ ² Research Institute of Eco-friendly Livestock science, INSTITUTE of GreenBio Science Technology, Seoul National University・ ³ National Institute of Crop Science, RDA)
P48	粳米サイレージ調製における乳酸菌資材の添加効果 小橋有里 ¹ ・○関 誠 ^{1,3} ・北村 亨 ² (¹ 新潟県農業総合研究所畜産研究センター・ ² 雪印種苗 (株)・ ³ 現:新潟県農業総合研究所)
P49	寒地型牧草類における乾物率の違いがサイレージpHと発酵品質の関係に及ぼす影響 ○服部育男・加藤直樹・金子真 (農研機構 九州農研)
P50	パウチサイロを用いたサイレージの発酵品質に影響を及ぼす因子の推定 ○中川 脩 ¹ ・池田四郎 ¹ ・海福雄一郎 ¹ ・折原健太郎 ² (¹ 株式会社ガステック・ ² 神奈川県畜産技術センター)
P51	パッシブインジケータ法を用いた調製直後のサイレージから放散される酸性および塩基性ガスのスクリーニング ○池田四郎 ¹ ・折原健太郎 ² ・中川 脩 ¹ ・海福雄一郎 ¹ (¹ 株式会社ガステック・ ² 神奈川県畜産技術センター)
P52	トウモロコシ子実主体サイレージの添加剤によるカビ抑制効果 ○根本英子・大下友子・青木康浩 (農研機構 北農研)

ポスター発表者は指定されたコアタイムにポスターの前で待機し、説明してください。
ポスターは3月22日の12:30から13:00の間に撤去してください。13:00以降に掲示されているポスターは大会事務局で処分します。

ポスター発表 (大学会館 3 F 大集会室)

奇数番号コアタイム : 3月21日 11:00~12:00

偶数番号コアタイム : 3月22日 8:30~9:30

4. 飼料調製加工・貯蔵・利用

P53 果物加工残渣が反芻動物第一胃発酵および微生物挙動に及ぼす影響
○上野 豊・春日重光 (信州大学術研究院[農学系])

P54 乾燥および破碎処理を行わない粳米の飼料向け貯蔵技術の検討
○井上秀彦・川出哲生・遠野雅徳・小林寿美・宮地慎 (農研機構 畜産研究部門)

5. 生理・形態・病理・昆虫

P57 虫害はトウモロコシ雌穂のフモニシン汚染リスクを増大させる要因の一つである
○岡部郁子 (農研機構 畜産研究部門)

P58 手もみ式簡易破碎容器 (フィンガーマッシャー) の使用で 少量・微細な植物種子の迅速な種皮除去 (粳すり) が可能である
○菅原幸哉 (農研機構 畜産研究部門)

6. 育種

P59 アルファルファ新品種「ウシモスキー」のチモシー混播栽培時における適切な播種量
○廣井清貞¹・牧野 司²・安達美江子³・竹田芳彦³・奥村健治¹・佐藤広子¹ (¹農研機構 北海道農研・²道総研 根釧農試・³ホクレン)

P60 UAV (Unmanned Aerial Vehicle) と画像解析法を用いた低コスト牧草評価法の開発
○秋山征夫¹・福重直輝²・菅 正²・久保田明人²・田村健一¹・眞田康治¹・藤森雅博² (¹農研機構北農研・²農研機構東北農研)

P61 サイレージ用トウモロコシ新品種「だいち」の育成とその特性
○佐藤 尚¹・黄川田智洋¹・伊東栄作²・濃沼圭一³ (¹農研機構北農研・²農研機構九州研・³農研機構畜産部門)

P62 北海道十勝地域におけるチモシーの採種時期による特性変化
○寺戸貴裕・長谷川 哲・塩沢道明 (家畜改良センター十勝牧場)

P63 飼料用トウモロコシF1系統群における絹糸抽出期前の耐倒伏性調査
○三ツ橋昇平・玉置宏之 (農研機構 畜産研究部門)

P64 ペレニアルライグラス「東北7号PR」の利用2年間の越夏性と収量性
○藤森雅博・久保田明人 (農研機構 東北農研)

ポスター発表者は指定されたコアタイムにポスターの前で待機し、説明してください。
ポスターは3月22日の12:30から13:00の間に撤去してください。13:00以降に掲示されているポスターは大会事務局で処分します。

ポスター発表 (大学会館 3 F 大集会室)

奇数番号コアタイム : 3月21日 11:00~12:00
偶数番号コアタイム : 3月22日 8:30~9:30

6. 育種

P65	早生高WSC含量系統「東北8号0G」の特性 ○藤森雅博 ¹ ・谷津英樹 ² ・久保田明人 ¹ ・秋山征夫 ³ ・田村健一 ³ ・横山 寛 ² ・佐藤駿介 ² ・眞田康治 ³ (¹ 農研機構・東北農研・ ² 雪印種苗(株)・ ³ 農研機構・北農研)
P66	トウモロコシS3およびS4系統への赤かび病接種検定 ○黄川田智洋・佐藤 尚(農研機構 北農研)
P67	寒地向け雑種系統の育成に向けたススキ属の耐凍性評価 ○眞田康治・小路 敦・田村健一・奥村健治(農研機構 北農研)
P68	エンドファイト感染フェストロリウムの幼苗での感染率 ○久保田明人・藤森雅博(農研機構 東北農研)
P69	エンドファイト(<i>Epichloë uncinata</i> , <i>E. occultans</i>)感染イタリアンライグラスの幼苗および種子における感染率の品種・系統間差 ○吉田信代 ¹ ・清 多佳子 ¹ ・森本信生 ¹ ・菅原幸哉 ¹ ・荒川 明 ¹ ・佐々木 亨 ² ・杉田紳一 ² (¹ 農研機構・ ² 日本草地畜産種子協会)
P70	幼苗検定による硝酸態窒素濃度が低いスーダングラス系統育成の試み ○川地太兵・須永義人(農研機構 畜産研究部門)
P71	北海道向きフェストロリウム「北海1号」の収量および生育特性 ○田村健一 ¹ ・田瀬和浩 ¹ ・谷津英樹 ² ・横山 寛 ² ・高山光男 ² ・眞田康治 ¹ ・秋山征夫 ¹ (¹ 農研機構 北農研・ ² 雪印種苗(株))
P72	本州中山間地における稲発酵粗飼料専用品種「たちあやか」の種子生産に関する研究 土方浩嗣・○大野和之・加藤知寿子・川口 優(家畜改良センター茨城牧場長野支場)
P73	BLUP法アニマルモデルのチモシー育種への適用の試み ○田中常喜 ¹ ・田村健一 ² ・足利和紀 ¹ ・藤井弘毅 ¹ (道総研北見農業試験場・ ² 農研機構 北農研)
P74	アカクローバのブルガリア遺伝資源系統と国内育成品種の交配後代における播種年の特性と植物エストロゲン含量 ○佐藤広子・廣井清貞・奥村健治(農研機構 北農研)

7. 土壌肥料

P75	更新法の違いがオーチャードグラス採草地の収量と温室効果ガス収支に及ぼす影響 ○森 昭憲 ¹ ・松浦庄司 ² ・長竹 新 ³ ・波多野隆介 ³ (¹ 農研機構畜産部門・ ² 農研機構農環研・ ³ 北大院農)
P76	早春の追肥窒素量とプラウ耕の休止が土壌養分とイタリアンライグラス生産の変化に及ぼす影響 ○黒川勇三 ¹ ・川村健介 ² ・小櫃剛人 ¹ ・積山嘉昌 ¹ ・山口哲平 ¹ ・木原真司 ¹ ・脇良平 ¹ (¹ 広大生物圏・ ² JIRCAS)
P77	草地表面へ施用した各種被覆尿素からの窒素溶出 ○山田大吾 ¹ ・北川美弥 ¹ ・志村宏夫 ² (¹ 農研機構 畜産研究部門・ ² 山梨県子牛育成協会)

ポスター発表者は指定されたコアタイムにポスターの前で待機し、説明してください。
ポスターは3月22日の12:30から13:00の間に撤去してください。13:00以降に掲示されているポスターは大会事務局で処分します。

ポスター発表 (大学会館 3 F 大集会室)

奇数番号コアタイム : 3月21日 11:00~12:00

偶数番号コアタイム : 3月22日 8:30~9:30

7. 土壌肥料

P78 マンガン欠乏に起因するトウモロコシの葉脈間黄化症状
○須永義人¹・原田久富美^{1,2}・川地太兵¹ (¹農研機構畜産研究部門・²現農林水産省)

P79 低リン条件下における低フィチンダイズの生育反応
小川舞子・秦 東・○実岡寛文 (広島大大学院生物圏科学研究科)

8. その他

P80 アースダムが持つ植物多様性保全機能について
○工藤睦津美・岩間俊樹・臼田景暉・木村涼介 (青森県立五所川原農林高等学校 森林科学科)

P81 飼料作物品種情報データベースの利用に関するアンケート調査
○宮川 咲・川口 優・加藤信夫 (家畜改良センター茨城牧場長野支場)

2. 造成・管理・栽培

P82 草地用ロボットトラクタによる牧草生産技術の開発 1. 草地の3次元形状がロボットトラクタの走行に及ぼす影響
○関口建二¹・横山和寿²・白藤大貴²・須藤賢司³・渡辺也恭³・鎌形哲稔⁴ (¹道総研根釧農業試験場・²ヤンマー株式会社・³農研機構北農研・⁴国際航業株式会社)

ポスター発表者は指定されたコアタイムにポスターの前で待機し、説明してください。
ポスターは3月22日の12:30から13:00の間に撤去してください。13:00以降に掲示されている
ポスターは大会事務局で処分します。